

# 平成23年度 第3回飯山市地域公共交通会議

## 会議資料

平成23年12月19日(月)

飯 山 市

## 目 次

1. 検討の背景と目的 .....	1
2. 飯山市の概況 .....	2
2-1. 人口・世帯の状況 .....	2
2-2. 通勤・通学流動 .....	3
2-3. 買物動向 .....	4
2-4. 自動車保有率 .....	5
2-5. 鉄道の利用推移 .....	5
2-6. 施設分布 .....	6
2-7. バス交通の概要 .....	7
2-8. 路線別バス概況 .....	8
2-9. 路線別運行効率状況 .....	19
3. 現状の問題点 .....	20
4. 運行見直し案 .....	21
4-1. 路線見直しに関する基本的考え方 .....	21
4-2. 運行方式の整理 .....	22
4-3. 見直し対象路線の選定 .....	24
4-4. 運行計画検討案 .....	25
4-5. 他路線の見直しについて .....	31
4-6. スクール車両の活用可能性 .....	32
4-7. 観光二次交通の検討 .....	33

---

## 1. 検討の背景と目的

人口減少やマイカー普及による自動車利用が進み、公共交通の利用者が減少し続けているため、公共交通を維持するための行政負担は増加しています。一方で、高齢化の進展に伴い、自ら自動車を運転できない高齢者が増加していることなどから、移動手段を持たない交通弱者に対して、通院や外出などの外出支援策を確保することが大きな課題となってきました。

このような背景の中で飯山市では、平成 17～18 年にかけて市内の公共交通の見直しを行い、予約型乗り合いタクシー（菜の花タクシー）等を導入して、公共交通の確保や交通空白地域の解消、行政負担の縮減に取り組んできました。

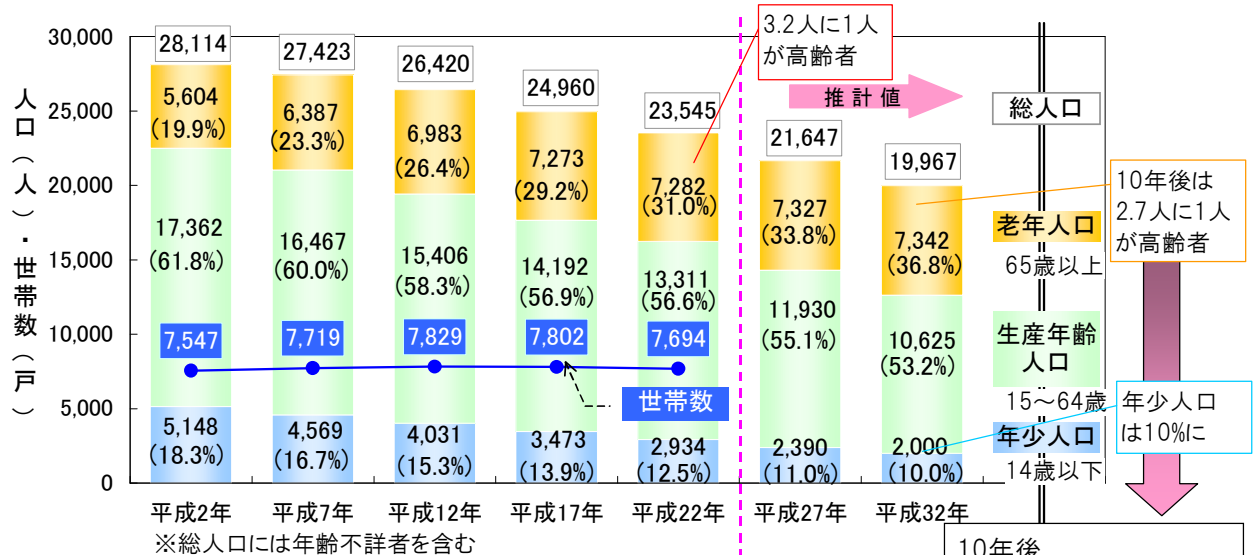
しかしながら、市内の公共交通維持のために年間6,500万円余を負担している現状や、進む高齢化により、公共交通に対する要望や期待の高まりがあることなどから、市民が安心かつ安全であって利用しやすく、将来的に持続可能な公共交通システムを構築することを目的に、再度、公共交通の見直しを検討することとしました。

また、北陸新幹線飯山駅開業を3年後に控え、市内観光発展のための条件整備も必要なことから、観光二次交通への公共交通の活用策の検討も、生活路線網整備と併せて行なう必要があります。

## 2. 飯山市の概況

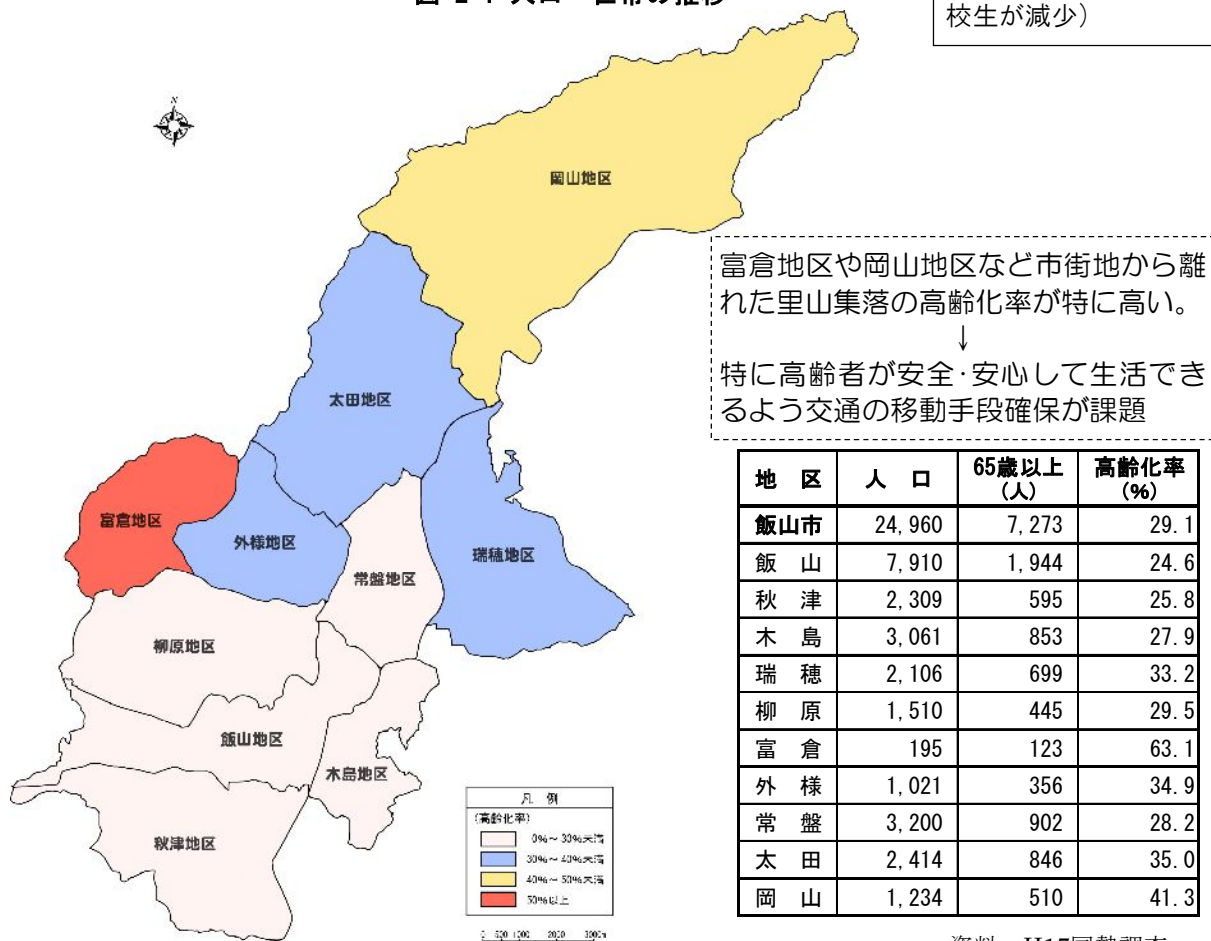
### 2-1. 人口・世帯の状況

- 本市の平成22年人口は23,545人、老年人口は31.0%となっている。
  - 地区別にみると、富倉、岡山地区をはじめ全ての地区で減少している。
- 課題：人口減少、高齢化への対応



資料：H22まで国勢調査/H27, H32は推計値（国立社会保障・人口問題研究所）

図 2-1 人口・世帯の推移



資料：H17国勢調査

図 2-2 地区別高齢化率 (H17)

## 2-2. 通勤・通学流動

- 飯山市内の通勤・通学者は15,012人(通勤13,884人/通学1,128人)である。
- 通勤・通学において、周辺市町村への公共交通手段による分担は、JR飯山線やバス(中野木島線・合庁線)、野沢温泉線等が機能している。

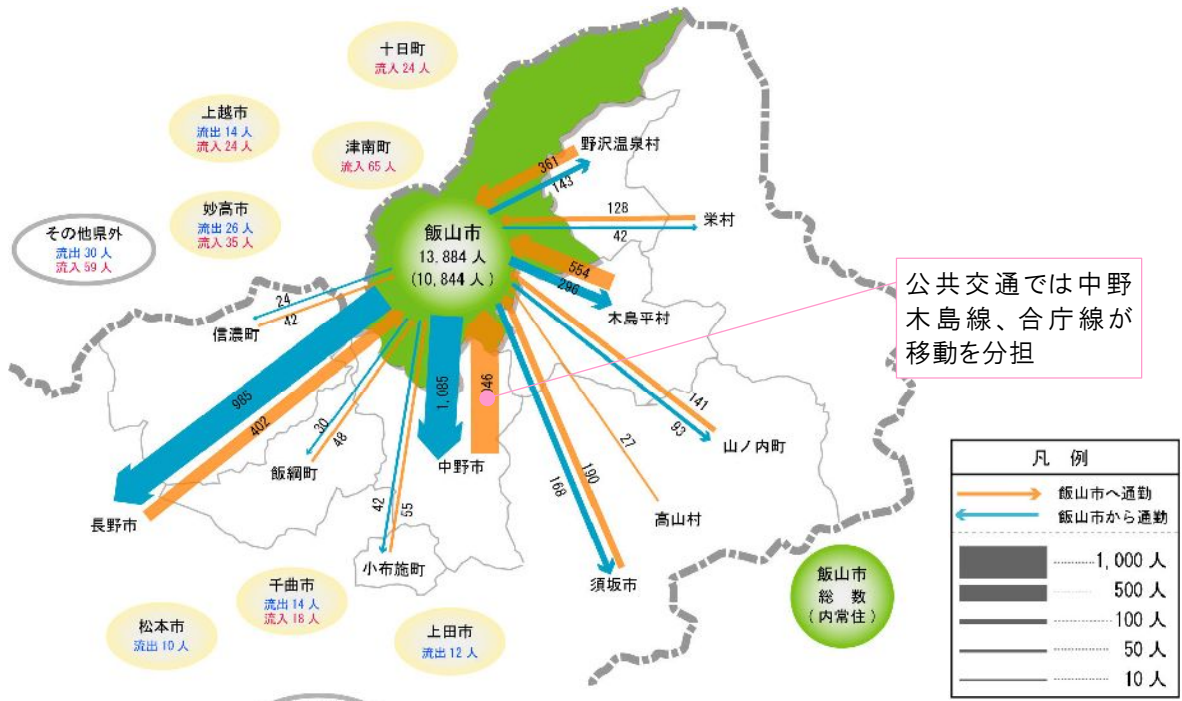


図 2-3 通勤流動

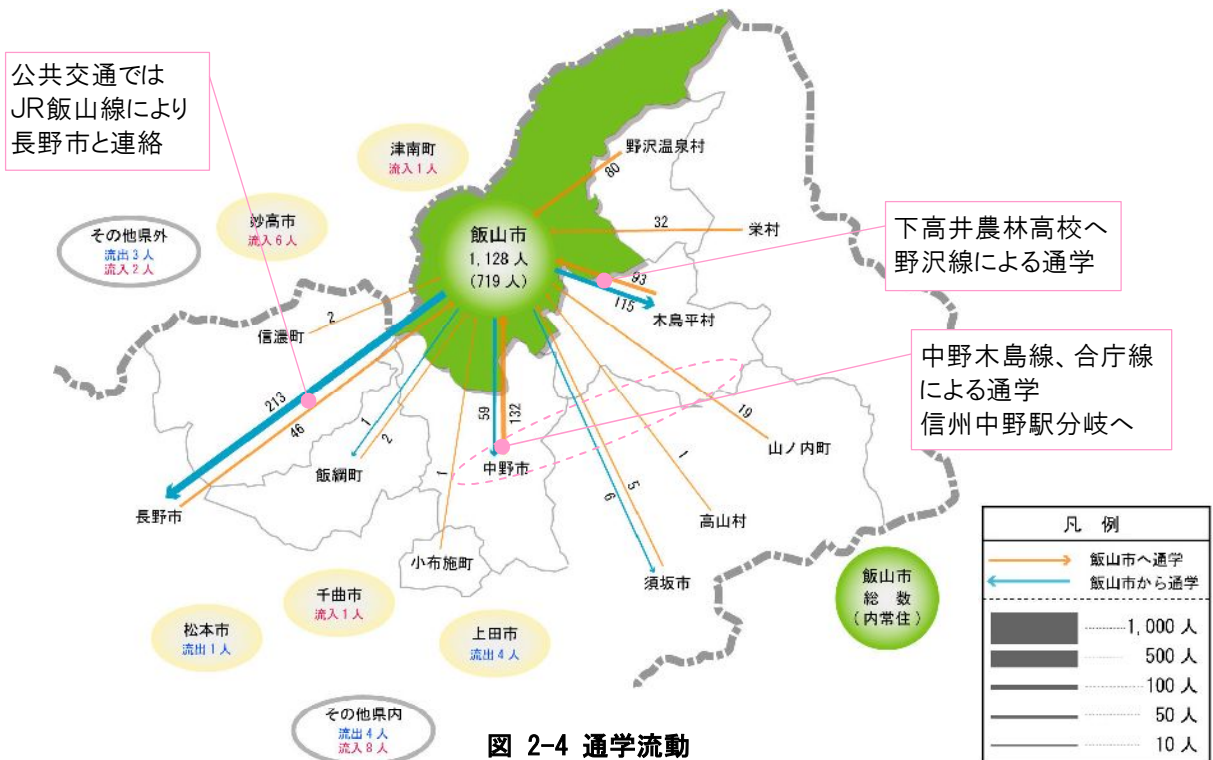


図 2-4 通学流動

資料：平成 17 年国勢調査

## 2-3. 買物動向

- 飯山市内の地元滞留率は61.6%で推移をみると、10年(H12→H21)で3.1%低下している。
  - 市外の買物先(流出)では、中野市(18.3%)や長野市(12.9%)となっている。
  - 近隣市町村からの流入では、木島平村(61.8%)、野沢温泉村(56.9%)、栄村(46.0%)である。
- 課題 買い物弱者への対応

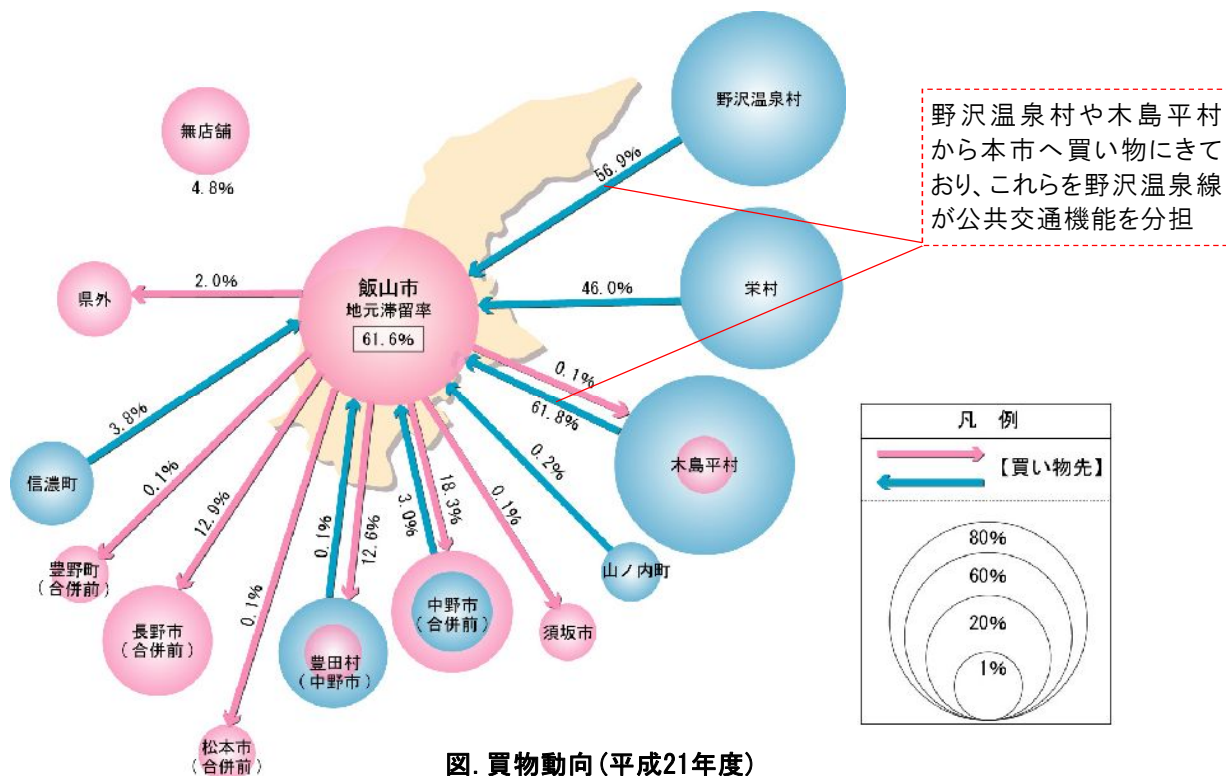
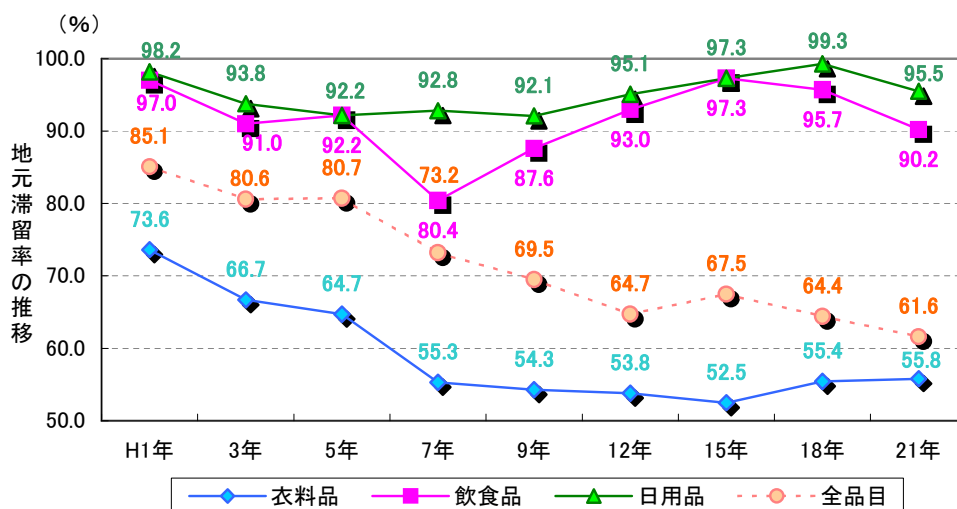


図. 買物動向(平成21年度)

日用品・飲食品の買い物先は、飯山市内が90%以上を占めており、交通弱者のための買い物支援として公共交通の確保が課題



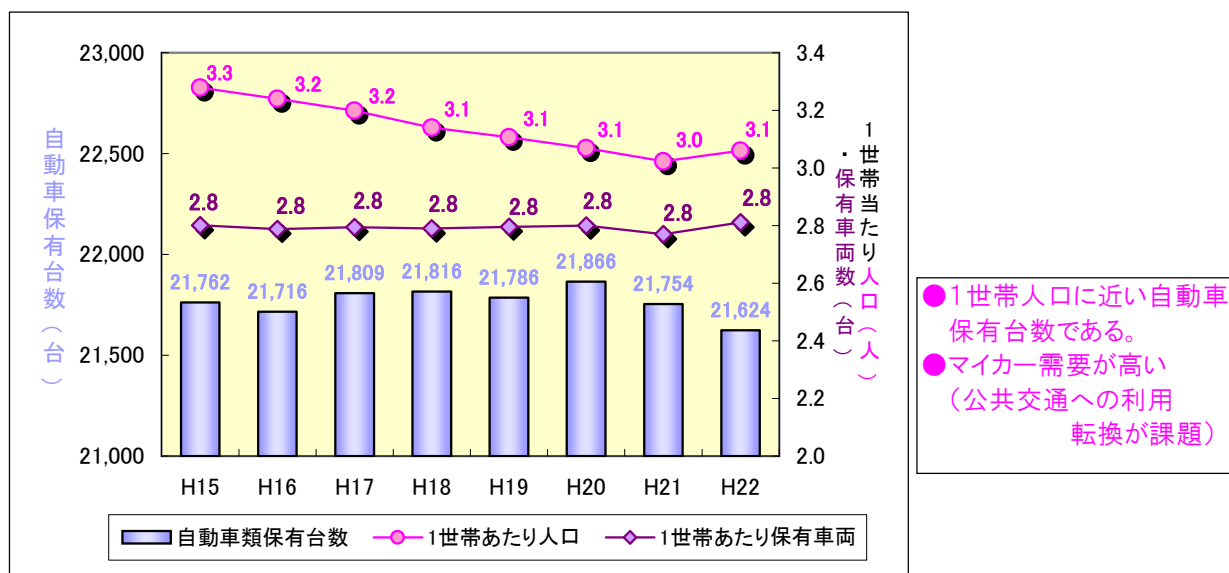
資料：長野県商圈調査

図. 地元滞留率の推移

## 2-4. 自動車保有率

□飯山市の自動車保有台数は、21,624台(H22)で1世帯当たり2.8台(長野県平均2.3台)です。  
 □1世帯あたり人口3.1人で概ね一人一台の保有状況です。

**課題** マイカー依存が高く、公共交通は子どもや高齢者、障がい者など交通弱者の移動手段



資料：飯山市の統計(平成19年版), 毎月人口, 長野県内の市町村別自動車保有車両数(長野運輸支局)

図. 自動車保有台数の推移

## 2-5. 鉄道の利用推移

□飯山市の鉄道はJR飯山線があり、9駅がある。

□飯山駅では平成20年に約610人/日の利用で、10年前と比べ100人/日程度減少している。

**課題** 鉄道の利用促進、観光客や通勤・通学などニーズに合わせた鉄道とバスの連携

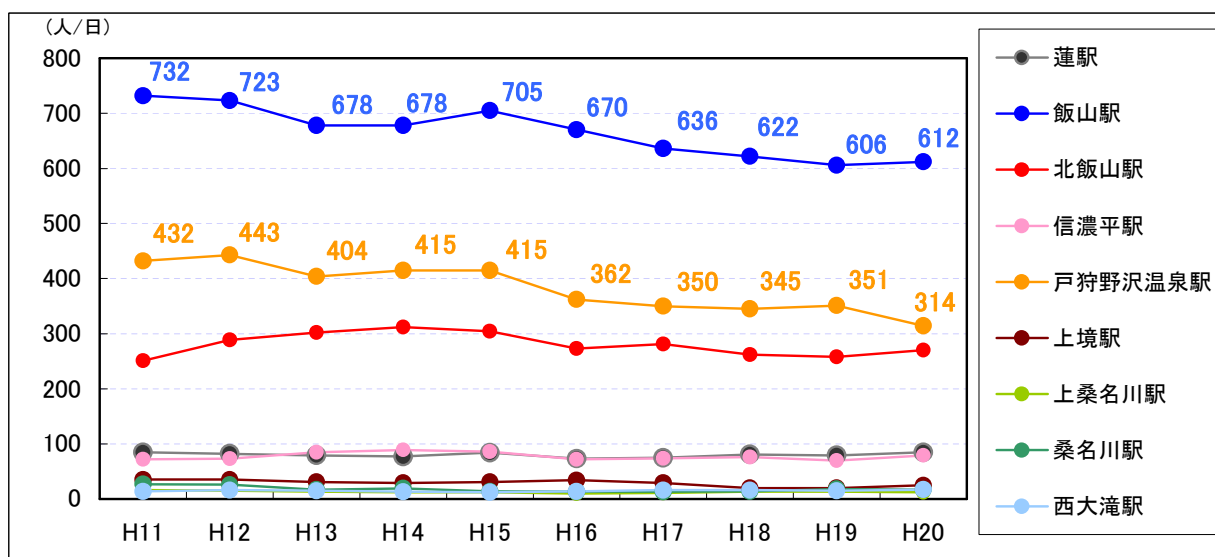


図. 駅別乗車人員

資料：長野県統計書

## 2-6. 施設分布

- 市の中心部に飯山駅や飯山日赤病院、市役所、商店街所が集積している。
- 市街地南部の静間バイパス沿線に郊外型商業施設や飲食店などが集まっている。
- 観光資源は、寺のまち、高橋まゆみ人形館、映画のロケ地等のほか、斑尾高原、なべくら高原などが市域全体に分布している。

**課題** 日常生活者、来訪者それぞれのニーズに対応した公共交通の確保

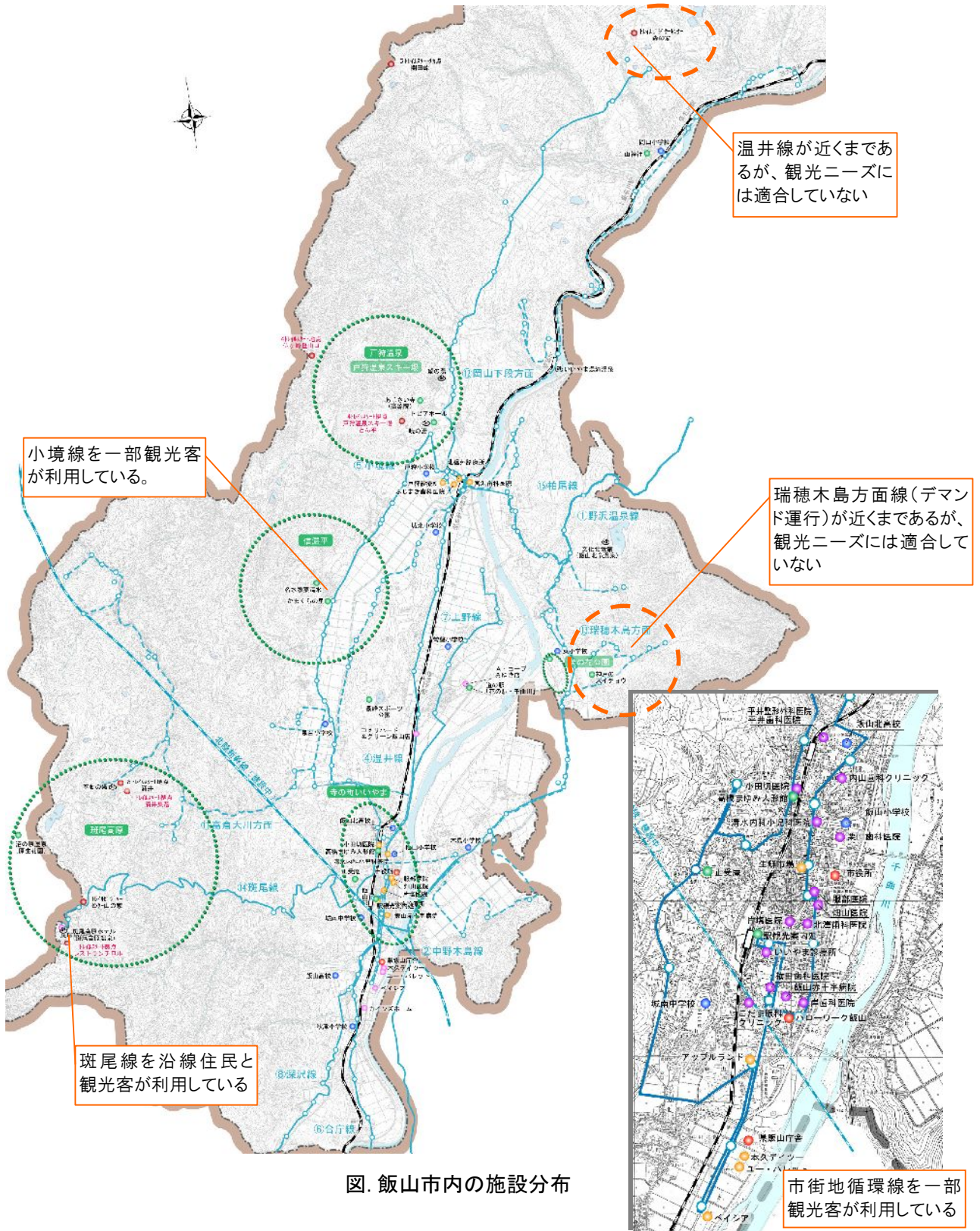


図. 飯山市内の施設分布

## 2-7. バス交通の概要

□ 民営路線バス、廃止路線代替バス、市営路線バス、交通空白地域解消路線バス、交通空白地域解消予約型乗り合いタクシーの5種類があります。

表. 市内バスの運行概要

No.	路線名	運行管理者	認可	運行日	運行本数		利用料金		キロ程			
					上り	下り	円	区間or定額	km		km	
1	野沢温泉線 (民営)	長電バス株	第4条	毎日	13	12	600	野沢<=>飯山	-			
2	中野木島線 (民営)	長電バス株	第4条	毎日	15	15	600	中野<=>木島	-			
3	南高線 (民営)	長電バス株	第4条	月～金	1	1	200	南高<=>飯山	-			
4	温井線 (廃止路線代替)	長電バス株	みなし第4条	毎日	6	7	790	温井<=>飯山	15.3	飯山発	18.2	木島発
5	小境線 (廃止路線代替)	長電バス株	みなし第4条	毎日	6	6	600	戸狩<=>飯山	13.1	飯山発	16.0	木島発
6	合庁線 (廃止路線代替)	長電バス株	みなし第4条	月～金	7	7	600	中野<=>飯山	5.3	飯山 市内		
7	上野線 (菜の花バス)	長電バス株	みなし第4条	月・木	2	2	300	上野<=>飯山	8.9			
8	深沢線 (菜の花バス)	長電バス株	みなし第4条	火・金	2	2	200	深沢<=>飯山	6.2			
9	市街地循環線 (菜の花バス)	長電バス株	みなし第4条	月～金	6		100	定額	16.4			
10	富倉大川方面 (菜の花タクシー)	飯山観光ハイヤー株	第4条	毎日	4	4	500	富倉<=>飯山	20.0			
11	岡山下段方面 (菜の花タクシー)	長野交通株	第4条	月・水・金	3	3	600	西大滝<=>飯山	24.6			
12	瑞穂木島方面 (菜の花タクシー)	戸狩ハイヤー株	第4条	月・水・金	3	3	400	瑞穂<=>飯山	25.2			
13	コミュニティバス斑尾線 (自家用車有償運送)	飯山市	第79条	毎日	5	5	500	斑尾<=>飯山	12.9			
14	柏尾線(湯の花号) (廃止路線代替)	のざわ温泉交通株	みなし第4条	毎日	9	9	300	野沢<=>戸狩	-			

【飯山市内のバス路線網】

No.	路線名	路線種類	運行事業者	運行日	備考	
①	野沢温泉線	民営	長電バス株	毎日		—
②	中野木島線	民営	長電バス株	毎日		—
③	南高線	民営	長電バス株	月～金		図示なし
④	温井線	廃止路線代替	長電バス株	毎日	市補助赤字95%	—
⑤	小境線	廃止路線代替	長電バス株	毎日	市補助赤字95%	—
⑥	合庁線	廃止路線代替	長電バス株	毎日	市補助赤字95%	—
⑦	上野線	菜の花バス	長電バス株	月・木	市補助	—
⑧	深沢線	菜の花バス	長電バス株	火・金	市補助	—
⑨	市街地循環線	菜の花バス	長電バス株	月～金	市補助	別図
⑩	富倉大川方面	菜の花タクシー	飯山観光ハイヤー株	月～金	市補助	—
⑪	岡山下段方面	菜の花タクシー	長野交通株	月・水・金	市補助	—
⑫	瑞穂木島方面	菜の花タクシー	戸狩ハイヤー株	月・水・金	市補助	—
⑬	コミュニティバス斑尾線	自家用車有償運送	飯山市	毎日		—
⑭	柏尾線	廃止路線代替	のざわ温泉交通株	毎日	市補助赤字33%	—

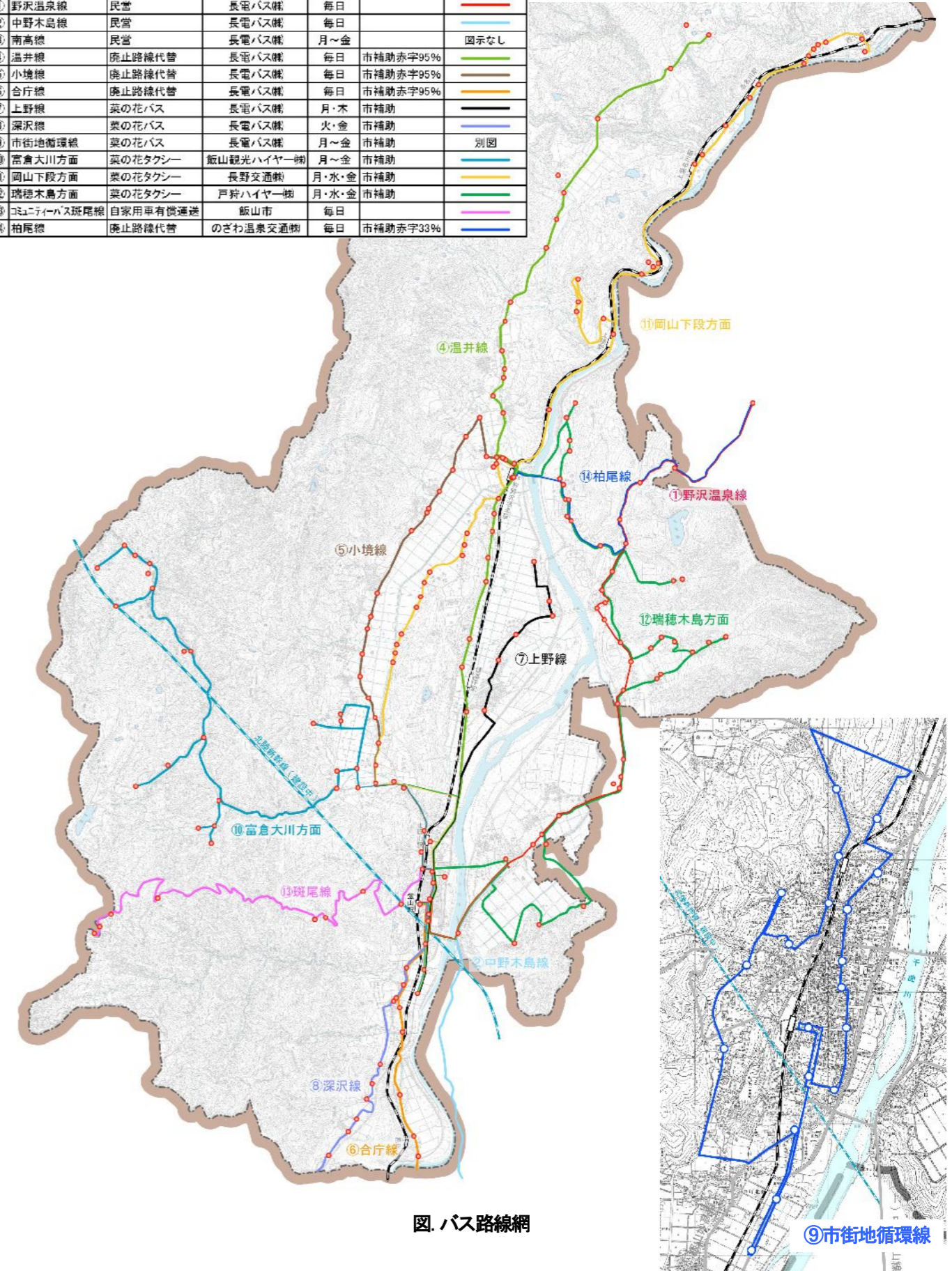


図. バス路線網